

海外語学研修プログラム参加報告書

外国語学部中国学科 2 年（参加当時）

留学期間:8/31～9/23

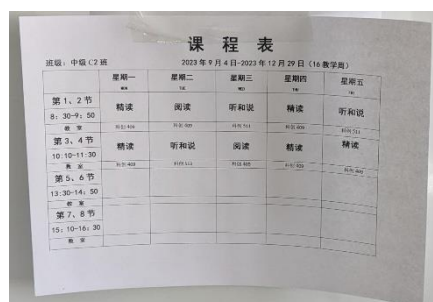
留学先:大連外国語大学

●留学先での取り組み

まず、初日の行動の流れや普段の授業日の 1 日について書きたいと思います。

初日は大連空港に着くと、大連外国語大学の職員の方が出口で待機してくださっていました。そこから全員で迎えのバスに乗って学校へと向かい、学校に着くとまず寮に荷物を置きました。その後すぐに漢学院という建物で中国のレベルを図るテストと、先生との面談がありました。テストは読解とリスニング、そして先生との面談では文章の音読をして少し雑談をしました。これがクラス分けのテストで後日自分のクラスが発表されました。

普段の授業がある日の流れとしては、朝 8:30 から始まる授業に間に合うように準備して、寮から漢学院へ向かいます。授業は 1・2 限目が 8:30-9:50、3・4 限目が 10:10-11:30 でした。留学中の時間割は下記の通りです。



	星期一 Mon	星期二 Tue	星期三 Wed	星期四 Thu	星期五 Fri
第 1、2 节 8:30-9:50 精 读	精读	阅读	听和说	精读	听和说
第 3、4 节 10:10-11:30 精 读	精读	听和说	阅读	精读	精读
第 5、6 节 13:30-14:50 精 读					
第 7、8 节 15:10-16:30 精 读					

午前の授業が終わったら皆一斉に昼食を食べに食堂または総合楼へと向かうので、とても人が多いです。私がよく食べていたのは、総合楼にある”香泽先生“というフルーツバイキングのお店です。

昼食の後はまた午後からまた授業に出る人もいますが、短期留学生の私達は日によって異なる文化体験をさせて頂きました。例えば、習字、お茶会、香囊づくり、琴、切り絵など様々な中国の文化について学び実践しました。また文化体験の時間帯に博物館やショッピングモールにスクールバスに乗って連れて行ってもらう日もありました。

続いてクラスメイトとの交流について書きたいと思います。留学生は短期・長期関係なく中国語のレベルによってクラス分けされます。また、授業のレベルが自分にあつ

ていなかった場合にもクラス変更を申請できるため安心でした。クラスの人数は約 20 人前後で、クラスによってはもう少し少ないところもあります。

クラスにはたくさんの国から来た留学生がいます。例えばロシア、イタリア、韓国、タイ、ガイアナなど多国籍クラスです。私はその中でも韓国人とガイアナ人の友達と仲良くしていました。授業と授業の間の休み時間が 20 分あるので、そこで自己紹介をしたり、趣味を話したりいい交流の時間になります。お昼や週末には一緒に何回かご飯を食べに行きました。韓国人の友達やガイアナ人の友達と話していて驚いたことは、日本のアニメや音楽が彼女たちの国にも浸透しているということです。共通の話題で話すことが出来たということも彼女たちと仲良くなるきっかけでした。

下記の写真は一緒にご飯を食べた時のものや週末に一緒に出かけた時のものです。



始めは短い期間しかいないので友達が出来るか不安でしたが、クラスメイトたちはみんな優しくて、中国語でたくさん話しかけてくれたためとても良い時間が過ごせたと思います。

●留学先での暮らしに関して

ここでは留学先で困ったこと、準備しておけばよかったことなどを書きたいと思います。

まず一番困ったことは支払いです。中国はキャッシュレス決済が急速に普及しており、大学内で大きな現金（例えば 50 元、100 元など）をだすと渋い顔をされたり、レジをおいていない食堂ではぴったりの代金で支払わないと現金を受け取ってくれませんでした。私ははじめの方は Wechat pay や支付宝は登録できていなかったもので、払えないときは、友達に頼んでいました。中国でキャッシュレス決済を登録するには、一般的に中国で銀行口座を開設して登録するのが主流ですが、短期間しか滞在しない人は口座の開設ができません。しかし、他にもパスポートとクレジットカードだけで登録する方法もあります。

それでなんとか申請が通って Wechat pay を使うことが出来るようになりました。しか

し登録するときの注意点として、パスポートを身分証明書として使っているため、名前をパスポートと同じローマ字表記で登録することに気をつけなければいけません。これを漢字のまま登録してしまうと、パスポート名と一致しませんという通知がきます。またこの登録名は15日間名前を変更することが出来ないためその間は他の決済方法で支払うしかありません。またこの登録は出来れば出発前に済ませておくことがおすすめです。

私がみてわかりやすかった登録方法の URL は下記のものです。

https://clifehack.com/2023/07/25/howto_wechatpay/

次に準備しておけばよかったものや逆に持って行ってよかったものを紹介します。

[準備しておけばよかったもの]

- 大きめの洗濯ネット

(洗濯機はルームメイトと同じものを使うことが多く、すぐ区別がついて便利のため)

- 消臭スプレー

(中国の料理は味が濃く食堂やショッピングにいくとすぐに調味料の匂いが服につきすぐ洗濯出来ない時に匂いが消せるため)

[持って行ってよかったもの]

- ハンガー

- 洗剤&シャンプー・ボディソープ類などの浴槽グッズ

- 洗濯バサミ

- カップ麺などのインスタント食品やお菓子

[持って行ったけど使わなかったもの]

- ガイドブック

- 留学先で学んだこと

今回3週間という短い期間の留学では正直自分の中国語レベルが格段に上がったかどうかは分かりません。単純に自分の語彙力のレベルが足りていないことやリスニング力がないことを痛感する場面もたくさんありました。

しかし、中国で出来た外国人の友達との交流で話せないなりに言い回しを変えたり、とにかく口に出して相手に伝える姿勢にとっても刺激されました。最初は消極的でつつい日本人同士ばかりで話すことが多かったですが、簡単な挨拶や天気のことなど些細なことから自分から話しかけるように努力しました。中国語がもっと上達する、話

すことが出来るようになるにはやっぱり教科書の内容を暗記したりするよりも、実践的な会話を積むことが大切であることを実感した留学生活でした。これから中国でできた友達にまた会う機会があった時にもっと成長した姿で再会できるようにもっと中国語に真剣に取り組もうと思います。